

# ■ 住民による防災・減災の取り組み

土砂災害による被害者を無くすためには、施設整備などのハード対策と併せて警戒避難体制の整備などを行うソフト対策が重要です。当所では住民懇談会により防災マップを作成し、この防災マップを活用した避難訓練を実施することで、地域防災力の向上が図れるよう関係市村への支援を行っています。

## 住民主導型警戒避難体制の検討手順

### 住民懇談会の設置

#### 【テーマ①】地域の土砂災害危険箇所を把握する

- ・過去に災害が発生した場所
- ・大雨が降ると発生する現象(予兆現象)
- ・避難場所となり得る比較的安全そうな場所
- ・避難経路として活用することができる道路 など

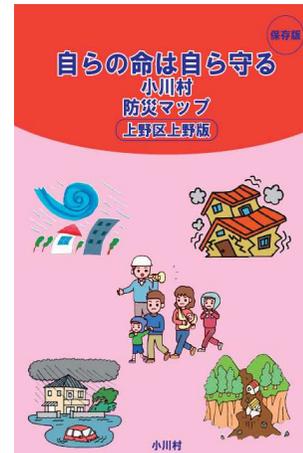
#### 【テーマ②】地域独自の具体的な避難方法を考える

- ・自主避難計画の策定
  - 避難を開始するタイミングの検討
  - 状況に応じた避難場所の検討

#### 【テーマ③】警戒避難体制の仕組みを地域住民全員に周知する

- ・懇談会の議論で決まったことを、地域全体へ周知する方法の検討
  - ・周知する内容の確認
    - 例:リーフレット
- ※作成にあたっては、行政のフォローが必要

《地区防災マップ作成支援事業》  
近年は小川村の各地区の支援を実施しています。



(例) 地区防災マップ



懇談会での検討の様子

小川村 地区防災マップ支援	
年度	地区数
H28	4
H29	1
H30	1
R1	1
R2	1
R3	1
R4	—
R5	3